

◎湖内試験採苗器付着量調査結果（7月31日引き上げ）

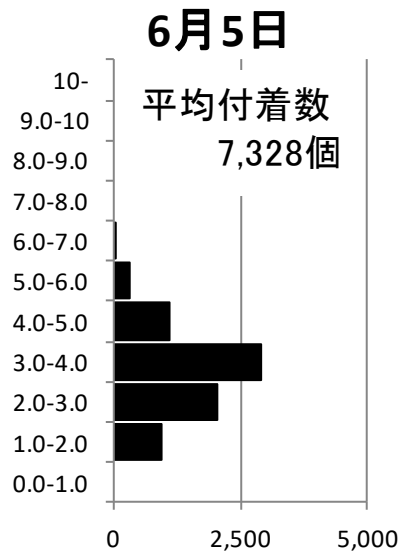
サロマ湖内に試験採苗器を6月5日に投入し、その付着状況を調べました。

その結果、平均付着数は7,328個／袋でした。

殻高は3mm台を中心に5mm台もあり、平均サイズは3.2mmと平年並(3.2mm)でした。

引上7月31日		ホタテ		イガイ	その他
		付着数	サイズ(mm)		
6月5日	St2	6,720	3.32	5,536	192
	St3	10,176	3.16	4,768	32
	St4	5,088	3.08	8,640	64
平均		7,328	3.19	6,315	96

試験採苗器ではコケムシ（編み目を覆う寒天状の動物）による大幅な脱落はみられませんでした。仮分散中の採苗器でコケムシの発生を確認しています。養殖組合では、湖内移動時期、移動場所、垂下水深などの聞き取り調査を実施しています。



調査年	平均付着数	平均殻高mm
平成25年	12,127	4.1
平成26年	15,869	2.5
平成27年	1,406	4.2
平成28年	9,433	3.3
平成29年	32,437	2.1
平成30年	7,328	3.2
25～29年平均	14,255	3.2

ブイ5の水質データ

◎サロマ湖水質状況

7月30日にブイ5地点で水温、塩分、溶存酸素を調査しました。その結果、水深3m以浅で水温20℃以上、水深17m以深で溶存酸素量5mg/L以下でした。

できるだけ高水温と低酸素を避けて養殖施設の管理をしてください。

